

## 上級生（2～3年生）アンケート結果（国際教養学部）

このアンケートは、2年生～3年生に対し、2022年5月9日～5月31日の期間で実施され、「どのような意欲を持っているか」及び「何を身につけたか」「どのようなスタンスで学修し、どの程度学修に時間を割いているか」を問うものです。

### ■ 回答の状況

	在籍者数	回答者数	回答率
2年生	229	27	11.8%
3年生	237	52	21.9%

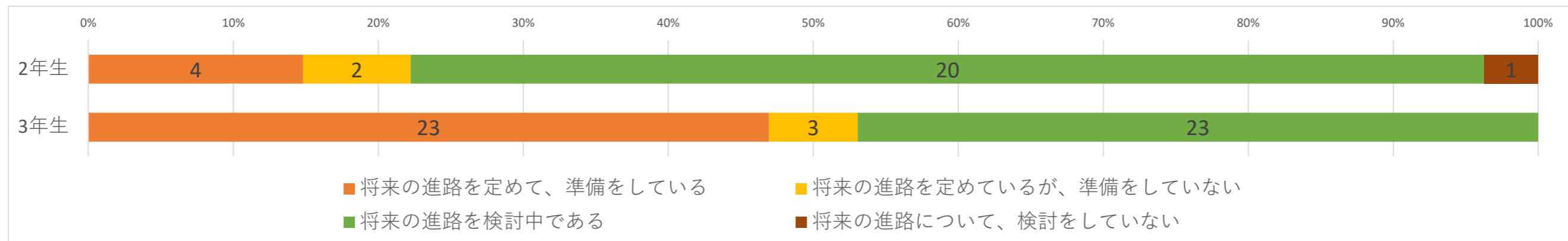
※2022/5/1時点の在籍者

### ■ アンケート結果 ※グラフ中の数値は回答数

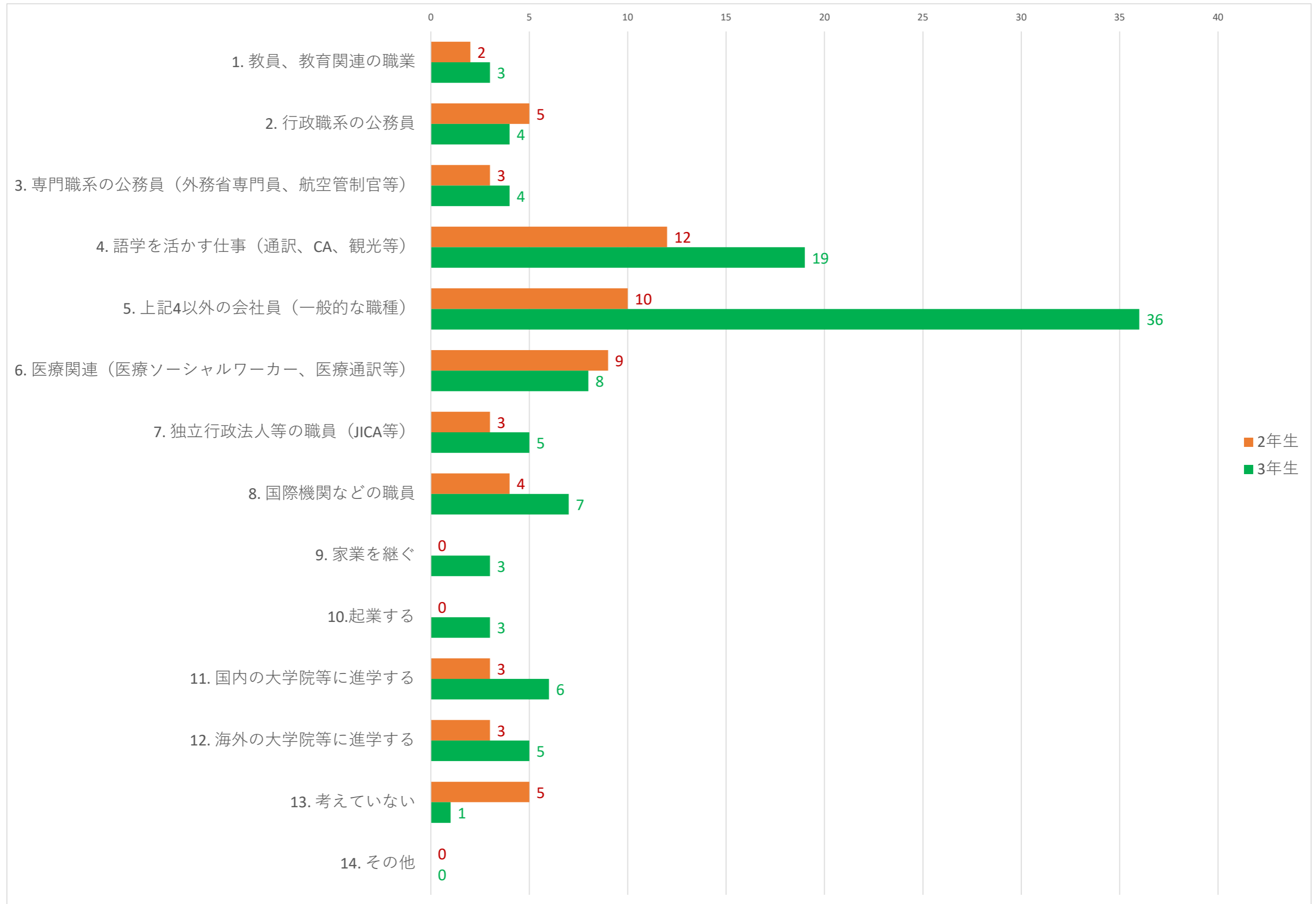
#### 【意欲に関する設問】

#### 設問 1. 将来の進路を見据えて、準備をしていますか。

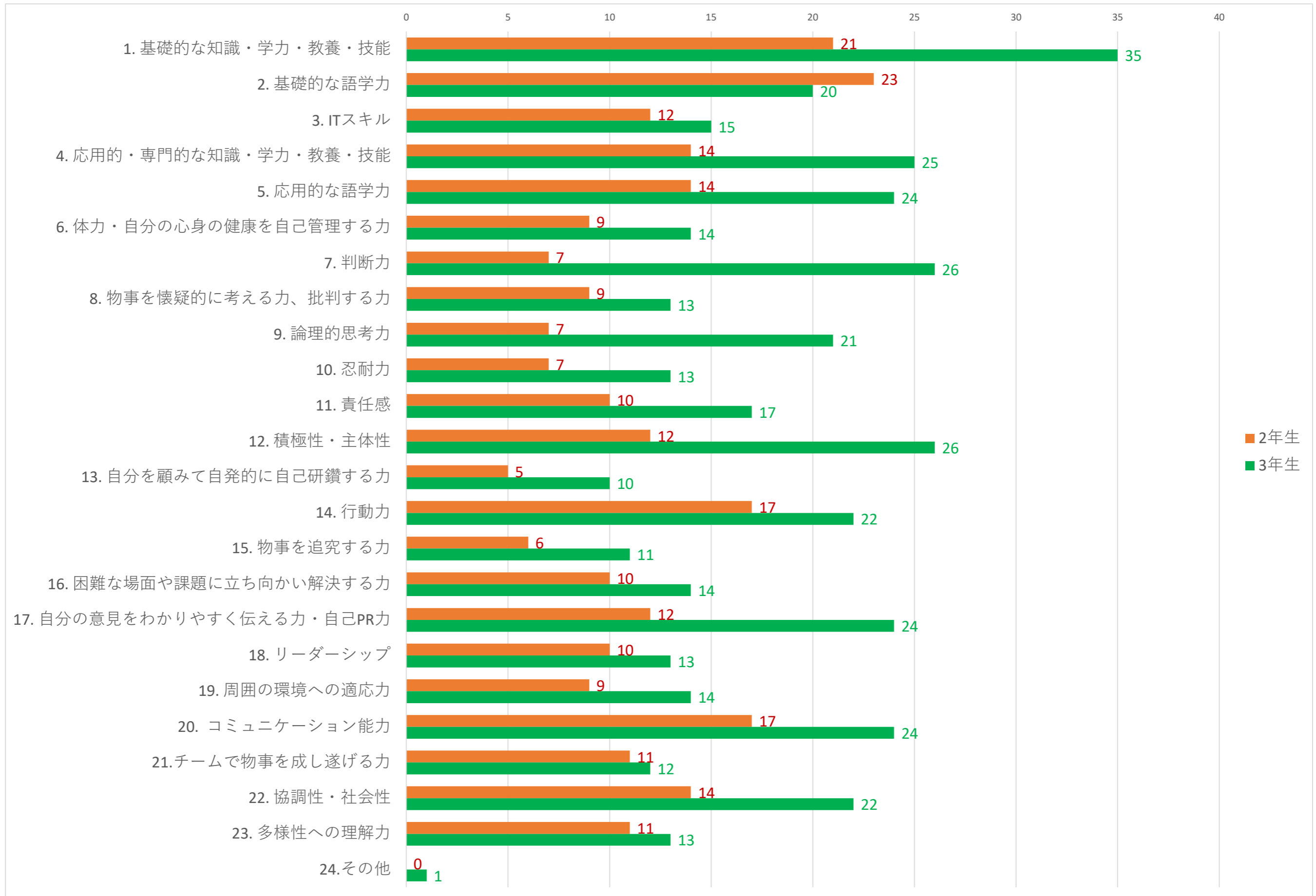
※準備とは、具体的には国家試験を見据えた日々の勉強、自分の将来の専門性、研修先、キャリアプランを考えての情報収集、先輩に話を聞くなどを想定しています。



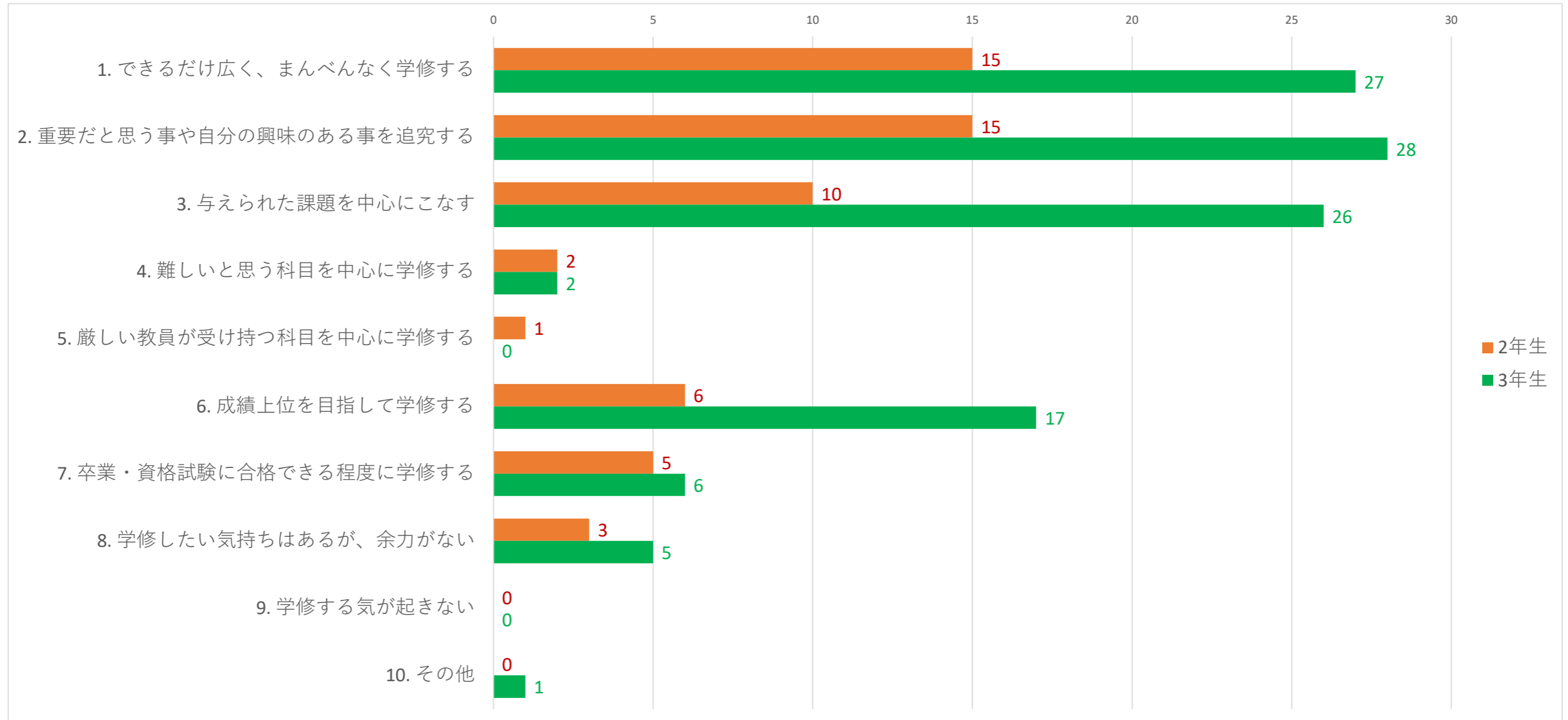
設問2. 今現在、将来どのような進路に進みたいですか。(複数選択可)



設問3. 今後の大学生活で身につけたい力は何ですか。(複数選択可)



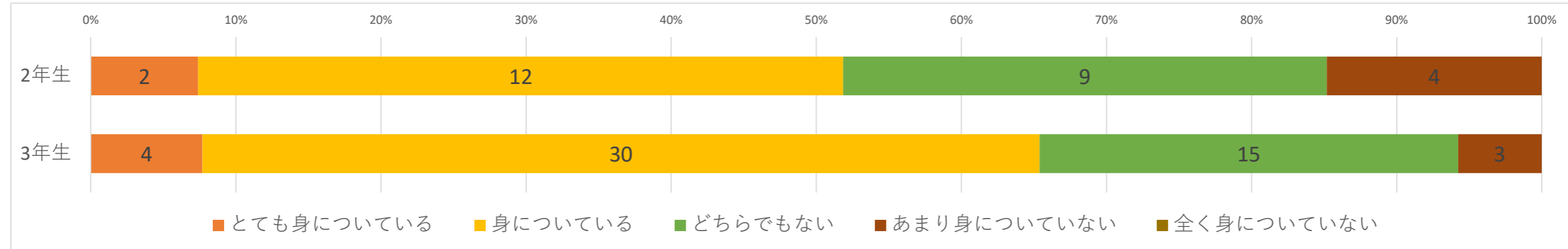
設問4. 現在の、学修に対するスタンス（姿勢）として当てはまるものを選択してください。（複数選択可）



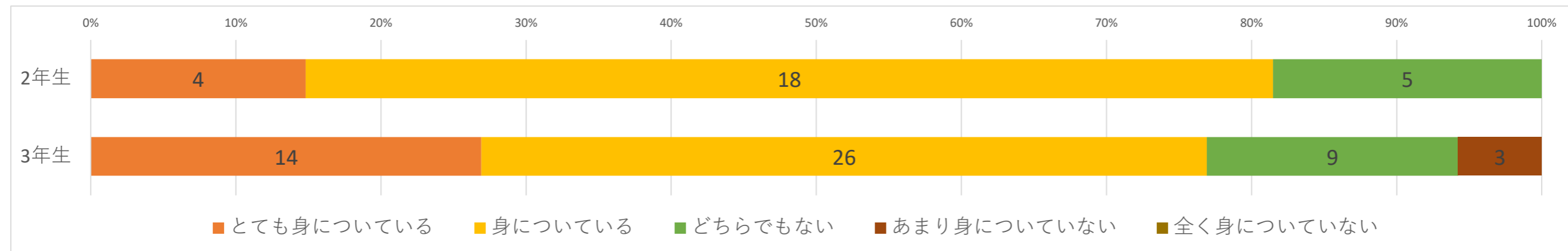
## 【成長の実感に関する設問】

設問5. 以下は、国際教養学部のディプロマ・ポリシーです。それぞれ、身につけているかどうか、自己評価してください。

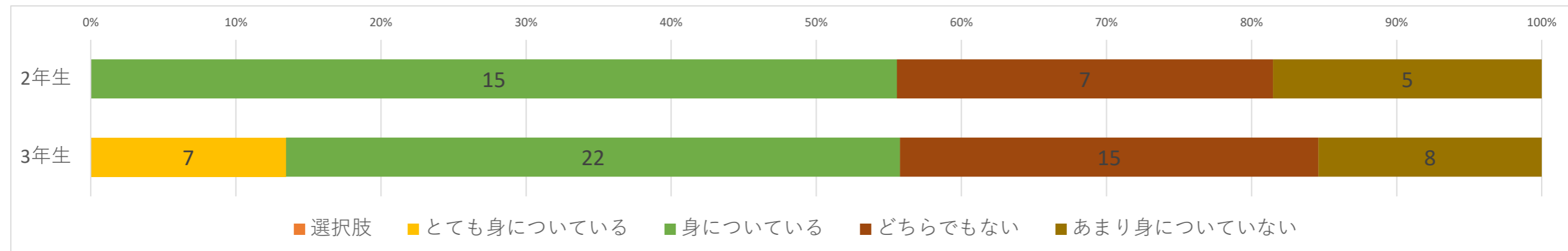
①グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力



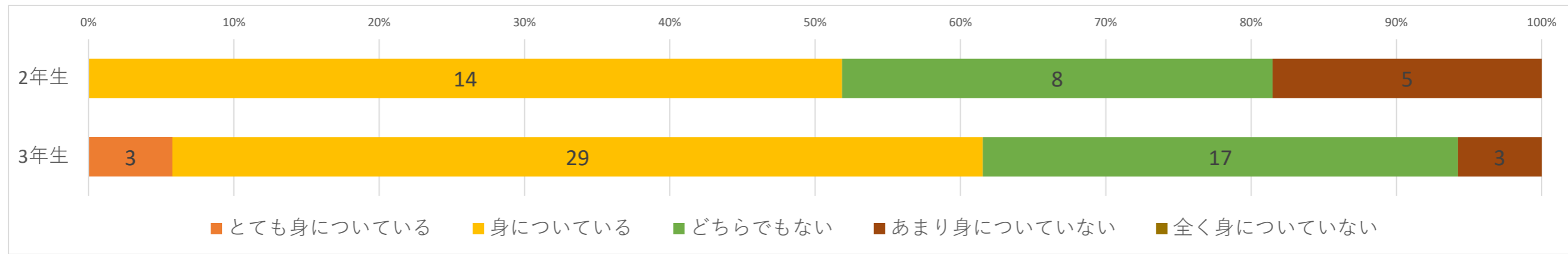
②自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力



③母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力

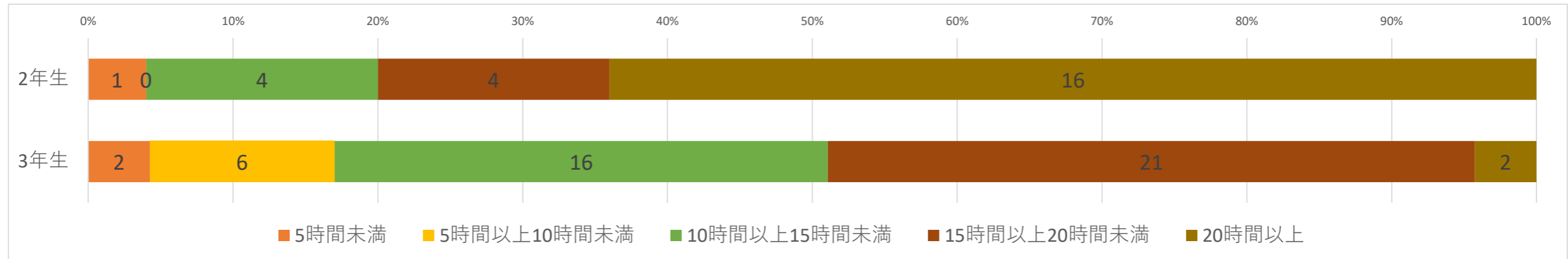


④グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力

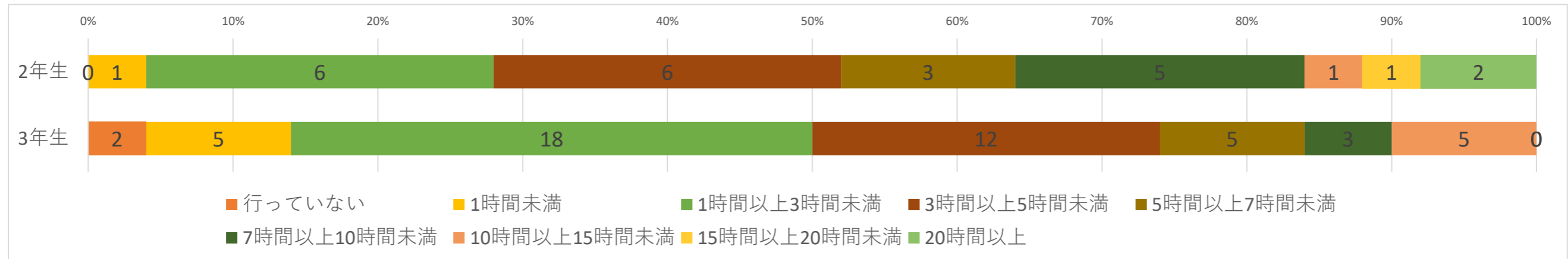


【学修時間に関する設問】

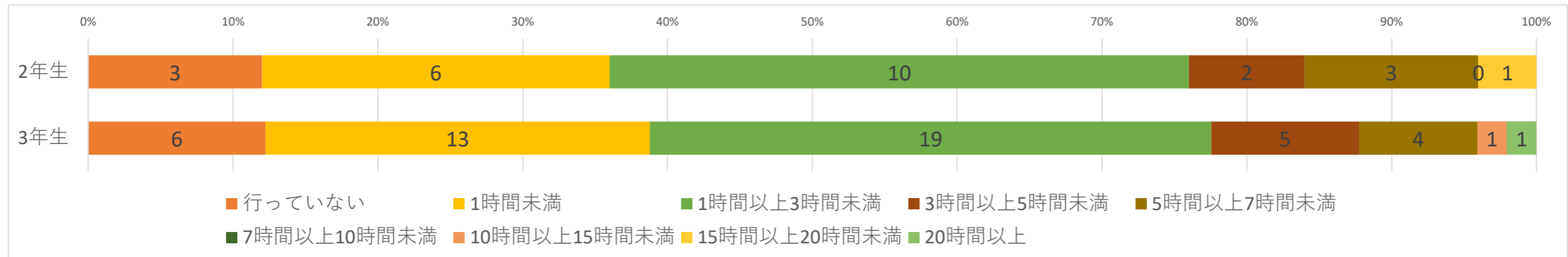
設問6. 授業を受ける時間（1週間）はどの程度ですか。



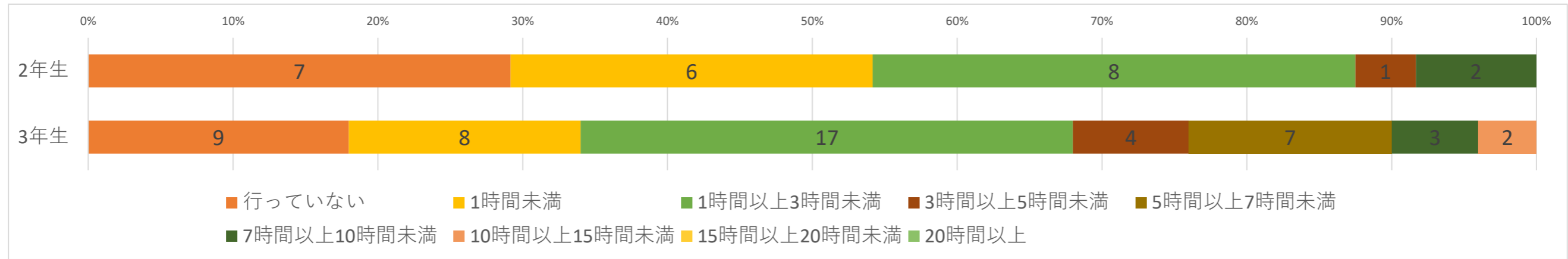
設問7. 予習・復習・期末試験勉強等の関連学修にかかる時間（1週間）はどの程度ですか。



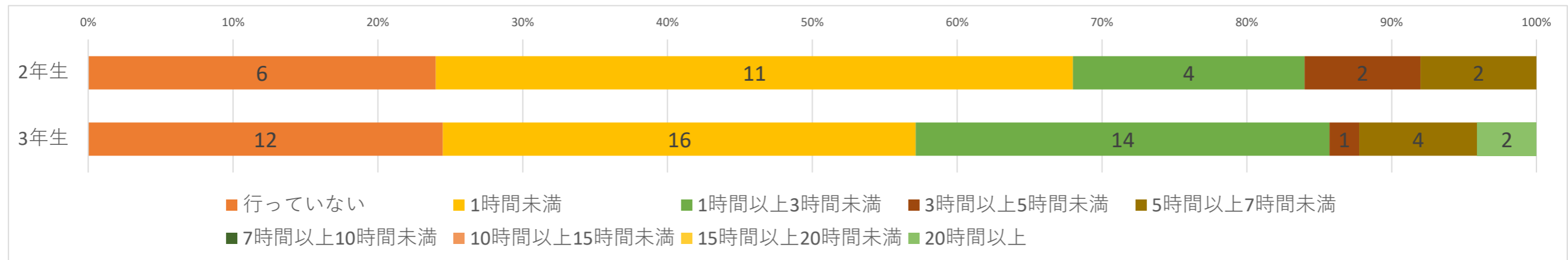
設問8. 授業の予習・復習・試験対策ではない、自発的な学修にかかる時間（1週間）はどの程度ですか。



設問9. 資格試験（語学等）や国家試験のための学修にかかる時間（1週間）はどの程度ですか。



設問10. 自己啓発、教養のための活動や読書にかかる時間（1週間）はどの程度ですか。



設問11. 日頃から継続的に学修しますか。試験前に集中して学修しますか。

